

## 2. [雲南市立病院の建設について]

吉田町会場（吉田健康福祉センター）

Q3：病院建設については65億円かかるとのこと。過疎債・起債で建設対応することだが当然のことだと思っている。市は高齢化率が高く患者が多いことにもなるので市立病院は設備が急がれると理解している。しかし、設備をしても患者が来ないようでは問題になる。一昨年20日間入院したとき、患者への接遇が以前より良くなっていたことに驚いた。患者に対する職員の接遇指導について、格別の指導を願う。

A：事業費に関するご質問について。人口は20年でどんどん減る推計値が示されているが、高齢者の数は減らぬようだ。このことは患者数が減ることがないとみて設定している。H22・23年度で病床利用率は85～90%であり、県内トップの稼働率を誇っている。経営も安定してきた。今後とも患者数が維持できるように最大限努力をしたいと考えている。接遇についてお褒めの言葉をいただきありがとうございました。しかし、病院内の投書箱にはお叱りの声が寄せられている。指導が足りないと思っており、接遇向上を目指し指導していきたい。

（病院事業管理者）

Q4：病院の予約システムについて。市立病院でここ2～3年、人間ドックを受けている。結果、6か月先の再検査をすることとなったが、半年先の予約ができるならば、またその病院でお世話になろうと思うが、いかがか。

A：予約に関する計らいについてご意見をいただいた。検討していくのでよろしくお願いします。（病院事業副管理者）

Q5：救急車の経路について。現在、吉田地区における救急車の対応は頓原署から35～45分かけて到着する状況である。高速道路も開通したので、雲南署本署から出動し、三刀屋木次インターチェンジから吉田へ来てもらい時間短縮のうえ、できるだけ安全に病院へ運んでいただけるよう検討をしていただきたい。

A：救急車については6月議会においても質問を受けたところ。雲南署において検討中である。いつからの対応とは明言できないが、早い段階で実施できるように検討中である。（総務部統括危機管理監）